

様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第2回行田市郷土博物館協議会	
開 催 日 時	令和8年3月4日（水） 開会：午前10時00分 ・ 閉会：午前11時00分	
開 催 場 所	郷土博物館2階 会議室	
出席者（委員） 氏 名	大山能則会長 板垣時夫副会長 櫻井真佐美 石崎昌稔 松村有剛 宮本伸子 田村 均	
欠席者（委員） 氏 名	重田正夫 滝澤布沙 末木啓介	
事 務 局	館長 鈴木紀三雄 主査 篠田泰輔 主任 澤村怜薫 主任 岡本夏実 主任 江森庸介	
会 議 内 容	令和7年度下半期事業報告 令和8年度事業計画	
会 議 資 料	令和7年度第2回行田市郷土博物館協議会次第 令和7年度第2回行田市郷土博物館協議会資料	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴人なし	
会 確 議 録 の 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 氏 名
	令和8年3月15日	<u>大山 能則</u> _____

発 言 者	会 議 の 経 過 (議題・発言内容・結論等)
事 務 局 (篠 田)	<p>1 開会</p> <p>本日の出席について、委員10人のところ7人である。 行田市郷土博物館協議会条例第7条第1項で規定のとおり、過半数の出席を賜っているので開催する。 なお、本日の会議は公開となっている。(傍聴人なし) また、議事録は市のホームページで公開する予定である。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>行田市郷土博物館 館長 鈴木紀三雄 行田市郷土博物館協議会 会長 大山能則</p>
事 務 局 (篠 田)	<p>3 議事</p> <p>これより議事に入る。行田市郷土博物館協議会条例第5条第3項の規定のとおり、進行は会長にお願いする。</p>
大 山 会 長	<p>では、次第に従って議事に入る。 まず(1)の令和7年度下半期事業報告について事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明)</p>
大 山 会 長	<p>ただいま事務局より説明があったが、これについて質問や意見等があったらお願いします。</p>
宮 本 委 員	<p>LED化工事でLED照明が展示室に設置されたことによる効果や課題について教えて欲しい。</p>
事 務 局 (澤 村)	<p>LED照明のスポットライトによって、以前に比べて立体的な資料の見栄えがよくなった。しかし、平面の資料(壁等)に対しては照明が集中してしまうため、照らし方を今後検討していく。</p>
事 務 局 (鈴 木)	<p>展示する資料によって光の照度が変わるため、以前は蛍光灯を間引いて調整していたが、今回から調光器で照度を調整することが可能となった。常設展示室内で調光器がついている箇所は、ウォ</p>

	ールケース内と各展示室中央の模型を照らす箇所である。
宮 本 委 員	立体的な資料に効果があるとのことから、発掘された土器等の資料にも効果はあったか。
事 務 局 (篠 田)	調光器がついている箇所はよいが、スポットライトで資料を照らしている箇所は、光が強くとスポットライトのポールが短くなったため展示ケースの影が出てしまい調整が難しい。今後も見栄えよくなるよう調整していく。
事 務 局 (鈴 木)	スポットライトは、以前の器具は光の幅が最大40度であったが、LED化したスポットライトは最大35度である。
大 山 会 長	電球よりも明るくなったというメリット以外に何かあるか。
事 務 局 (鈴 木)	器具が故障しない限りは取替え等の維持管理がなくなったことがあげられる。
板 垣 副 会 長	P5①本年度寄贈資料の8と9についてお聞きする。どちらも公のものと推測されるが、各資料の内容と寄贈した方はどういった経緯で入手したのか教えて欲しい。 P9①第38回企画展「魚食のグルメ」の満足度とコメントについて、様々な方が満足しアンケートにあるとおり分かりやすい内容であったと私も感じた。担当された方の成果だと思っており、私も本展示について満足したひとりである。
事 務 局 (篠 田)	8星宮尋常小学校使用書籍は、勤務されていた元教頭先生が、廃棄されるところ今後の資料として必要であろうと考え保管されていた。書籍の内容は歴史系である。
事 務 局 (澤 村)	9太井村役場文書は、以前まで寄託資料として預かっていたものが寄贈されたものである。もともと、太井村の顔役であった方が廃棄される前に貴重資料であると考え保管していたものである。
事 務 局 (鈴 木)	昭和の大合併時、村役場が処分していた行政文書を寄贈者が見つけ引き取り、今までは寄託されていたものを今回寄贈いただいた

	た。
田 村 委 員	P5①本年度寄贈資料の5は写真なのか絵なのか。また、行田の歴史に関連するものなのか。
事 務 局 (澤 村)	写真である。一部市内を撮影した写真の絵葉書が含まれているため、引き受けたものである。
田 村 委 員	何点ぐらいあるのか。
事 務 局 (澤 村)	小さな段ボール1箱分の分量である。
田 村 委 員	11明治初期頃嫁入り道具は、どちらのお宅のもので、どのような内容か。
事 務 局 (澤 村)	明治初年に馬見塚のお宅に嫁入りした際の道具（柄鏡）である。
田 村 委 員	12堤根村増田家文書はどのようなものか。
事 務 局 (澤 村)	増田家から当館に大部分寄贈されているが、今回寄贈された資料は市場へ出回ってしまったものを心ある方が収集し、当館へ寄贈していただいたものである。中身は、水利についてである。
田 村 委 員	14須永仙助商店旧蔵資料はどのようなものか。
事 務 局 (岡 本)	須加村にあった、荒物屋で取り扱っていた商品を、この家の方から寄贈いただいた。内容は、足袋と鼻緒である。店の創業は100年以上前のことで、今回の商品も戦前のものとのことである。
田 村 委 員	鼻緒が残されているのは珍しいので後ほど見せて欲しい。
櫻 井 委 員	P14(3)高校生対象①インタビュー対応は、同じ高校の生徒が3回しているがインタビュー内容はどのようなものか。

事務局 (篠田)	進修館高校において実施されている行田學の一環で実施されたものである。内容は、忍城の歴史や観光施設としての考え方など、様々な質問を受けるものである。高校生は全員異なる生徒である。
大山会長	P14 (4) 大学生対象①見学対応の中にある、11月12日の立正大学37人は授業の一環ということで来館したものか。
事務局 (澤村)	立正大学の生活文化史の授業の一環として来館したものである。
大山会長	どのような内容の授業であり、博物館としてはどのように対応したのか。
事務局 (岡本)	授業の内容としては、地理歴史的な分野であると聞いた。そのため、地域の産業と街並みについてのことを伝えるため、行田の足袋産業と市街地についてという内容を中心に解説し紹介した。
大山会長	足袋が日本遺産に関係しているから、足袋が展示されている博物館に見学しにきたのか。
事務局 (岡本)	お見込みのとおり。
石崎委員	P14の職場体験学習にあるとおり、今年度は忍中の生徒がお世話になったが、他校からは職場体験はないのか。
事務局 (岡本)	今年度は休館日の関係から、申込はあったが受入可能とならなかった。
松村委員	P10貸館事業が上半期下半期ともになしとなっているが、例年ではどのような状況か。
事務局 (鈴木)	当館条例上及び規則上、企画展示室を外部に貸出すことが可能となっているもので、当館展示事業で使用していない時期に最大6日間貸出しするもの。今までは市内人形作家の作品を展示するた

	めに貸出ししたことがある。ただし、貸出しにあたっては様々な条件等がある。
板垣副会長	P10(4)パネル展示について、実施した場所に博物館がないのは、展示場所が設けられなかったことによるものか。
事務局 (鈴木)	本パネル展は、市企画政策課からの紹介によって実施したものである。博物館での実施は、1階ラウンジ付近で行いたいと考えたものの、今年度から始まったミュージアムショップ及び日本遺産パネルにより展示スペースを確保できなかった。そのため、合併した南河原支所と多くの市民が利用する中央公民館、市外からの観光客が多いヴェールカフェに展示するとした。180cm×120cmの穴あきボードを、南河原支所に5台、中央公民館に3台、ヴェールカフェに2台設置した。
大山会長	では、(1)の令和7年度下半期事業報告については終了する。次に、(2)の令和8年度事業計画について事務局より説明をお願いする。 (事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明)
大山会長	ただいま事務局より説明があったが、どなたか御質問や意見等があったらお願いします。
宮本委員	P17施設等の改善の1階女子トイレ洋式便器交換修繕について、洋式便器を新しい洋式便器にするのか、それとも和式便器を洋式便器にする修繕のどちらなのか。
事務局 (鈴木)	和式便器から洋式便器にする交換修繕である。これにより、1階女子トイレはすべて洋式便器となる。
宮本委員	P17施設等の改善の外壁等改修工事について、博物館のどこを工事する予定なのか。

事務局 (鈴木)	外壁等でクラックが生じている箇所の補修等を実施するものである。特に、灰色のブロックレンガを積んでいる壁体箇所については、目地の痛んでいる箇所を補修して全体を洗浄する予定となっている。実施時期は12月～3月を予定し、足場を周囲に組むこととなるが休館はしない。
宮本委員	建築系の仕事柄、目地の補修施工を行う場合は寒い時期は避けるべきと考える。使用する材料が寒さによって凍結し仕上がりに不備が生じる。品質を一番に考えるならば、実施時期を冬以外にしたほうがよい。
大山会長	P17施設等の改善の忍城御三階櫓照明 LED 化工事は休館等の予定などはあるか。
事務局 (鈴木)	工事は櫓の階層ごとに施工していき、櫓全体が観覧不可とはならない予定である。時期は12月頃着手し、およそ1ヶ月は必要と思われる。
松村委員	展示事業や教育普及など様々な事業があるが、何人のスタッフで実施しているのか。
事務局 (鈴木)	職員の内訳は、正規職員5人、会計年度任用職員の学芸補助1名、管理補助1名、受付6名の13名である。その中で、正規職員5名中4名が学芸担当、1名が管理担当で業務に従事している。
松村委員	13名で展示事業や教育普及活動を実施しているのか。
事務局 (鈴木)	年間の業務計画に基づいて、正規職員の学芸担当4名と会計年度任用職員1名で実施している。
大山会長	それでは最後(3)その他について、事務局より説明をお願いする。
事務局 (篠田)	その他は、視察研修についてである。来年度は実施を予定していないが、今後に向けて視察のテーマや視察の候補地などを考えていただき、来年度第1回の協議会でご意見があれば伺いたいと思

<p>大 山 会 長</p>	<p>う。</p> <p>他に意見等なければ、以上で議事を終了する。 皆様の御協力で議事がスムーズに進行したことに感謝を申し上げ、議長をおろさせていただく。</p>
<p>事 務 局 (篠 田)</p>	<p>本日は長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。 それでは、閉会の御挨拶を副会長よりお願いする。</p> <p>4 閉会 行田市郷土博物館協議会 副会長 板垣時夫</p> <p>※博学連携展示「行田市のうつりかわり」及び常設展示室 展示見学</p> <p style="text-align: right;">以上</p>